

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科	目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入会金		21,400,000	23,800,000	△ 2,400,000
② 受取会費		512,104,000	471,961,000	40,143,000
③ 雑収益		333,967	10,229,226	△ 9,895,259
経常収益計		533,837,967	505,990,226	27,847,741
(2) 経常費用				
① 事業費				
	給料手当	301,507,034	298,222,417	3,284,617
	臨時雇賃金	161,585,812	152,396,230	9,189,582
	退職給付費用	460,404	1,894,950	△ 1,434,546
	賞与引当金繰入	7,594,000	8,099,000	△ 505,000
	福利厚生費	7,981,200	9,814,328	△ 1,833,128
	旅費交通費	15,761,665	15,781,551	△ 19,886
	通信運搬費	6,684,984	3,452,666	3,232,318
	減価償却費	2,799,185	3,877,485	△ 1,078,300
	印刷製本費	6,164,745	5,614,733	550,012
	事務所賃借料	10,280,539	17,026,035	△ 6,745,496
	賃借料	39,740,588	39,340,260	400,328
	諸謝金	2,888,613	2,119,446	769,167
	委託費	5,754,960	5,147,302	607,658
	諸会費	5,070,000	4,936,767	133,233
	調査研究費	3,999,200	4,159,200	△ 160,000
	システム管理・開発費	2,870,475	2,273,842	596,633
	会議費	4,775,667	4,449,707	325,960
	助成金	2,411,142	2,191,530	219,612
	複写費	7,750,000	7,750,000	0
	その他事業費	3,761,541	4,977,455	△ 1,215,914
		3,172,314	2,919,930	252,384
② 管理費				
	役員報酬	158,321,251	152,091,284	6,229,967
	給料手当	67,658,630	68,018,630	△ 360,000
	臨時雇賃金	19,018,989	20,563,455	△ 1,544,466
	退職給付費用	7,028,997	1,159,920	5,869,077
	役員退職慰労引当金繰入	1,230,000	1,686,000	△ 456,000
	賞与引当金繰入	14,448,000	14,448,000	0
	福利厚生費	8,156,533	8,066,800	89,733
	会議費	7,585,013	7,603,742	△ 18,729
	旅費交通費	2,539,223	2,198,797	340,426
	通信運搬費	2,904,253	2,549,190	355,063
	減価償却費	682,464	710,186	△ 27,722
	印刷製本費	2,551,017	2,406,314	144,703
	事務所賃借料	766,476	742,154	24,322
	賃借料	17,119,279	16,889,366	229,913
	諸会費	652,758	535,421	117,337
	その他管理費	395,190	326,313	68,877
		5,584,429	4,186,996	1,397,433
経常費用計		459,828,285	450,313,701	9,514,584
当期経常増減額		74,009,682	55,676,525	18,333,157
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				
什器備品除却損		1	0	1
ソフトウェア除却損		57,486	0	57,486
経常外費用計		57,487	0	57,487
当期経常外増減額		△ 57,487	0	△ 57,487
当期一般正味財産増減額		73,952,195	55,676,525	18,275,670
一般正味財産期首残高		911,179,538	855,503,013	55,676,525
一般正味財産期末残高		985,131,733	911,179,538	73,952,195

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引消去	合計
	継続事業1 自主規制事業	継続事業2 広報・普及 啓蒙事業	継続事業3 調査・研究及び 統計作成事業	小計	その他事業1 建議・要望事業	その他事業2 その他	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
①受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	21,400,000	0	21,400,000
②受取会費	0	0	0	0	0	0	0	512,104,000	0	512,104,000
③雑収益	77,000	0	0	77,000	0	160,000	160,000	96,967	0	333,967
経常収益計	77,000	0	0	77,000	0	160,000	160,000	533,600,967	0	533,837,967
(2)経常費用										
①事業費	107,848,627	40,829,295	36,638,145	185,316,067	64,095,560	52,095,407	116,190,967	0	0	301,507,034
給料手当	63,680,591	13,771,689	19,213,825	96,666,105	43,334,110	21,585,597	64,919,707	0	0	161,585,812
臨時雇賃金	460,404	0	0	460,404	0	0	0	0	0	460,404
退職給付費用	2,276,350	786,750	1,159,650	4,222,750	1,642,700	1,728,550	3,371,250	0	0	7,594,000
賞与引当金繰入	2,958,690	690,958	952,200	4,601,848	1,816,615	1,562,737	3,379,352	0	0	7,981,200
福利厚生費	6,551,305	1,668,974	1,867,071	10,087,350	2,587,066	3,087,249	5,674,315	0	0	15,761,665
旅費交通費	577,158	353,920	5,483,844	6,414,922	215,821	54,241	270,062	0	0	6,684,984
通信運搬費	342,115	1,273,773	95,474	1,711,362	644,386	443,437	1,087,823	0	0	2,799,185
減価償却費	2,650,840	616,475	739,769	4,007,084	1,232,949	924,712	2,157,661	0	0	6,164,745
印刷製本費	233,830	3,454,933	279,246	3,968,009	33,409	6,279,121	6,312,530	0	0	10,280,539
事務所賃借料	17,088,452	3,974,059	4,768,871	25,831,382	7,948,118	5,961,088	13,909,206	0	0	39,740,588
賃借料	1,798,404	113,372	136,047	2,047,823	226,744	614,046	840,790	0	0	2,888,613
諸謝金	1,111,370	3,357,849	1,035,741	5,504,960	0	250,000	250,000	0	0	5,754,960
委託費	5,070,000	0	0	5,070,000	0	0	0	0	0	5,070,000
諸会費	0	0	0	0	0	3,999,200	3,999,200	0	0	3,999,200
調査研究費	0	0	0	0	2,870,475	0	2,870,475	0	0	2,870,475
システム管理・開発費	0	1,154,840	0	1,154,840	0	3,620,827	3,620,827	0	0	4,775,667
会議費	67,560	1,168,318	74,344	1,310,222	156,396	944,524	1,100,920	0	0	2,411,142
助成金	0	7,750,000	0	7,750,000	0	0	0	0	0	7,750,000
複写費	1,617,463	376,154	451,385	2,445,002	752,308	564,231	1,316,539	0	0	3,761,541
その他事業費	1,364,095	317,231	380,678	2,062,004	634,463	475,847	1,110,310	0	0	3,172,314
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	158,321,251	0	158,321,251
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	67,658,630	0	67,658,630
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	19,018,989	0	19,018,989
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	7,028,997	0	7,028,997
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	1,230,000	0	1,230,000
役員退職慰労引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	14,448,000	0	14,448,000
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	8,156,533	0	8,156,533
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	7,585,013	0	7,585,013
会議費	0	0	0	0	0	0	0	2,539,223	0	2,539,223
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	2,904,253	0	2,904,253
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	682,464	0	682,464
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	2,551,017	0	2,551,017
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	766,476	0	766,476
事務所賃借料	0	0	0	0	0	0	0	17,119,279	0	17,119,279
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	652,758	0	652,758
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	395,190	0	395,190
その他管理費	0	0	0	0	0	0	0	5,584,429	0	5,584,429
経常費用計	107,848,627	40,829,295	36,638,145	185,316,067	64,095,560	52,095,407	116,190,967	158,321,251	0	459,828,285
当期経常増減額	△ 107,771,627	△ 40,829,295	△ 36,638,145	△ 185,239,067	△ 64,095,560	△ 51,935,407	△ 116,030,967	375,279,716	0	74,009,682
2. 経常外増減の部										
(1)経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用										
什器備品除却損	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ソフトウェア除却損	17,303	4,024	4,829	26,156	8,048	6,036	14,084	17,246	0	57,486
経常外費用計	17,304	4,024	4,829	26,157	8,048	6,036	14,084	17,246	0	57,487
当期経常外増減額	△ 17,304	△ 4,024	△ 4,829	△ 26,157	△ 8,048	△ 6,036	△ 14,084	△ 17,246	0	△ 57,487
他会計振替額	107,483,989	40,629,687	36,566,718	184,680,394	63,558,523	51,583,728	115,142,251	△ 299,822,645	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 304,942	△ 203,632	△ 76,256	△ 584,830	△ 545,085	△ 357,715	△ 902,800	75,439,825	0	73,952,195
一般正味財産期首残高	8,157,413	△ 4,559,132	3,976,195	7,574,476	11,564,426	△ 6,946,227	4,618,199	898,986,863	0	911,179,538
一般正味財産期末残高	7,852,471	△ 4,762,764	3,899,939	6,989,646	11,019,341	△ 7,303,942	3,715,399	974,426,688	0	985,131,733

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)

建物及び什器備品(リース資産を除く)の減価償却は、定率法を採用しています。
なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物	15年
什器備品	4年～18年

②無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しています。なお、耐用年数は次のとおりです。
自社利用のソフトウェア 5年

③リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

役職員の賞与の支払に備えるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

②退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末において発生している金額を計上しています。

③役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、当事業年度末において発生している金額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付等引当資産	181,883,000	23,272,000	16,093,000	189,062,000
合 計	181,883,000	23,272,000	16,093,000	189,062,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付等引当資産	189,062,000	—	—	(189,062,000)
合 計	189,062,000	—	—	(189,062,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	69,351,870	57,176,622	12,175,248
什器備品	30,864,554	28,025,967	2,838,587
リース資産	17,055,999	4,482,749	12,573,250
ソフトウェア	3,592,740	2,683,508	909,232
合 計	120,865,163	92,368,846	28,496,317

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

種 類	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	700,053,000	701,800,000	1,747,000

6. ファイナンス・リース取引関係

(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

①リース資産の内容

プリンター及びパーソナル・コンピューター、サーバーです。

②リース資産の減価償却の方法

「1. 重要な会計方針(2)③」に記載のとおりです。

7. 退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けています。

(2)退職給付債務及び内訳

退職給付債務 △71,602,000 円

退職給付引当金 △71,602,000 円

(3)退職給付費用に関する事項

勤務費用 8,824,000 円

退職給付費用 8,824,000 円

(4)退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算しています。

8. 金融商品関係

(1) 金融商品の状況に関する事項

資金運用については、預金及び有価証券に限定しており、有価証券は国債です。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

(単位:円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金預金	274,627,555	274,627,555	0
(2) 退職給付等引当資産	189,062,000	189,062,000	0
(3) 敷金	10,072,500	10,072,500	0
(4) 投資有価証券	700,053,000	701,800,000	1,747,000

(注) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっています。

(2) 退職給付等引当資産

退職給付等引当資産は、預金を原資としており、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっています。

(3) 敷金

賃借予定の期間に基づき、国債利回りを参考に割引現在価値法にて時価を算出しています。

(4) 投資有価証券

投資有価証券の時価については、変動利付国債は、日本証券業協会の公社債店頭売買参考統計値表の平均値によっています。

9. 資産除去債務関係

事務所賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務と認識していますが、当該資産除去債務に関しては、資産除去債務の負債計上に代えて、事務所賃貸借契約に関する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積もり、そのうち当会計年度の負担に属する金額を費用に計上する方法によっています。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載しているため、こちらへの記載は省略しています。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	17,881,128	16,137,733	17,881,128	—	16,137,733
退職給付引当金	78,871,000	8,824,000	16,093,000	—	71,602,000
役員退職慰労引当金	103,012,000	14,448,000	—	—	117,460,000